

日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社 同番地 (電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所

# 常盤新聞

定部金貳錢 廣五號十二 休日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三三五  
 一ヶ月廿錢 廣五號十二 休日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三三五  
 一ヶ月廿錢 廣五號十二 休日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三三五  
 一ヶ月廿錢 廣五號十二 休日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三三五

刊夕日七十月四

思想善導 (二) 土田誠一

教育者は實踐的とはいへ、もとより思想的考察を疎略して誘導をなし得ざることであり、學者も思想が實踐上如何なる影響を起すものなるかの明察は要るわけであらう、思想上の根柢も出來て居り實踐的に勝れた信念のある人をば世に之を人格者とよび、教育者は皆此類でなければならぬといつて居る、人格者は大きな働きの人である、心の妙樂を

失はず活動止むことなきものである、而かも此活動の中に動搖せざる心棒をもち依然たる統一を保つのである、信念のある教育家には此姿があるではなからうか信念の土臺が出来て居るから統一もあり變化も自由自在に出来るではなからうか凡ての活動静止はたゞ信念の發露其儘の無礙境である然し此境地までに到達するには實は容易のことであるまい信念に達するまでに努力が要り信念に達したと合點して居ても其信念がはたらきとなりて現はれ物に成るまでには中々長い間の努力と忍耐が要る努力と忍耐

とは努力忍耐三昧になつて居る人丈に分るところのものであつて、やつて見なければ駄目であらうが簡單なものではなからうか教育者の信念が微細に亘りて人の生活に光を入れ其生活を暖め輝かすことは即ち感化誘導であり思想善導であらう、教育者のかゝる善導は常に何等か與へつゝあるものであり與へて尙且つ盡きざるるところのものである、慈悲の本願成就といふものであらう

のどかな春! 旅行に! 散策に! 皆さん御待ち兼ねの.....

春の中折 鳥打帽子 子供さんの帽子

本月のウエンドウは春帽を陳列致しましたから御批評下さい

に ツルヤ 電話百四十番

平町細屋町(縣社通り) 美味イロ平食堂 評判 オの部電話四六〇番

山澤が向春 たしましたい荷入

フナ ルート着 皮帯 ルネ・ルセ 尺着 其の 命用御ぞうど 尺着 他 すまひ願を

目三平 屋田亀

春の歡樂の位本質品 酒銘醇芳


白馬の御用命の程願上ます

辰ノ口本家 平窪松本徳一 電話(平)七五二番

正札堂 堂札正

いや... 君、見違ひたよ... アイギを求めたね いやコレカネ... 例の「ソレ」

正札堂さ アハハ...



平町車停町平

お花見のお歸りには ぜヒ公園下カフエー松ヶ岡へ 研町通

尚ほ公園ときわ亭前に賣店を出し東下りの一流コックが腕を揮つて居ます

何卒御最負の程を.....

耳鼻咽喉科専門 場所 (舊診療所裏通り)

## 合津醫院

平町仲田町(電話五五九)

春日第一期特別大興行 日八十月

劍戟王阪東妻三郎獨占の妙技 義上 喧嘩安兵衛 全

外傳 吞平安、赤鞘の安、喧嘩安、八丁堀の安、酒豪中山安兵衛の半生は斯界の王者阪東によつて悉く描かく! 説明... 泉 天明

龍花久子主演 小プロダクションの模倣製作映畫に非ず 大日活の 君戀し 全

小唄映畫 三樹豊 津守精一 鳥耕二 助演... 佐久間妙子 獨唱... 中屋幸子嬢 説明若日柯村

河部五郎主演 萬木香一 澤村春子 市川小文治 常磐操子 義士 赤垣源藏 全

義士 三部曲 昨年四月よりの浪々に源藏暑さ寒さ にいかに世話になりまじかたが... サナ今晩は... 涙を知らぬ源藏が其の夜の詩人鹽山邸に兄の羽織に血涙を呑む決別の盃... 説明... 石井孝

町平 吉田眼科醫院

館平 活日(料場入)すまりあルヒ日二十二 竹松(通普)一デ生學曜日土

警城セメント會社特約店

# 久益屋商店

警城平町五丁目 電話九番 一三九番

▽良品廉賣は勝る商畧なし△  
 ▽確實敏捷は釜屋の生命なり△

外科専門 花柳病専門

## 木村外科醫院

入院自炊の便あり 平町五丁目橋際 電話三〇九番

### 毛脛の女裝姿や

#### 阪妻もどきか愛嬌

花は六分咲き、人も六分  
歡樂の渦巻く松ヶ岡

◆……春！花！花！  
平松ヶ岡は二千五百の廣告燈、各要所々に聳立してゐる強烈なるサーチライトをそれらから櫻花に反映して魅惑的な色調全山一杯に漲る遠空からの觀櫻團體は第一第二第三と各公園に輪を作つて三絃に酔ふてゐる、三つ二つとちこちの小つぶな花見團體が女氣も無く寂しくハシヤいであるのも愛ぐるしい

◆……毛脛の女裝姿や、  
阪妻もどきもボツリ／＼散見するの愛嬌があつて花見氣分を一層それらしくする

◆……今年はず昨年程まだ喧嘩沙汰も聞かない様だが樹間をノタ打つ酔漢は相當眼に留まる満更怪醉でも無さうだ

◆……町當局では例年通り、櫻花爛漫の期間中公園内に十數軒の賣店を許可せしめ、觀櫻客に利便を與へてゐる、尙當局では矢張り此の期間中を觀客に若し間違ひがあつてはいけなないと云ふ親切心から役場吏員を督勵し町會議員と協力して即製の掛け小屋に陣取つてゐる、例に依つて救護班は何かと忙がはさうに見ゆるゝ氣持がい

◆……公園内の公衆電話

### 花の時の衛生

談 師 醫 原 市

(前よりつゞ) 其の次に子供の病氣に就て一言申上げると子供の病氣の中で「引附」といふのが、これは一種の痲疹であつて、春先に非常に多い病氣の一つである、子供の「引附」と云ふのは主に子供の消化不良、胃腸加答兒若くは感冒氣管支炎、肺炎等の

高い熱を發する時に多いやうである、脊髄や腦の病氣の時とは別であるが、小兒の「引附」のときは取敢ず小兒を寢かせて、

頭や額を手拭で冷し、氷嚢を附けるとか或るひは氷枕を用ひて靜かに寢かせ同時にリスリン瀉腸を行ふが宜しい、輕い「引附」ならば瀉腸を行ふと大變通じがあつてそれだけで治ることがある、然しそれでも

回復し ない時には更に瀉腸を行つて見て醫者に診せると云ふことが必要である、種々な神經の病氣も克く春先に再發するものである、俗に云ふ「木の芽時」には種々の持病が再發したり、神經の素質のある人は神經病を起して來ると云ふやうな時期に當るもの

神痛 の人等は此の時期に再發して來る神經衰弱も花時に克く發病し易いのみならず、神經衰弱が今まであつた人は此の時期に増悪し易い、つまり云ふと春先には腦の作用が比較的悪いので健康な人でも何となく體が懈く腦の働きの鋭く眠氣が差して來ると云ふやうな時期である逆と性の質の人などは春先に克く頭痛がしたり鼻血を出したりするものであるであるから神經系統の持病を持つてゐる人は此の時期に成べく

醫者の 厄介になることが多いが慢性胃腸加答兒などのある人の春先の衛生法としては朝晩の食事の前、葡萄酒を一杯位用ひたり食後にデアスターゼやラクトスターゼなど胃腸の健康に氣も亦春先には再發し易いものであるから常に攝生に注意して病氣に罹らないやうに要心する必要がある(市原醫院長市原卯太郎氏談)

明日の 天氣 北東の風 勝ち小雨 模様

村に移動させ残りの二百名を上小川村に於ける官行製炭事業場に移動させる事の内定した由だが六月下旬ころ迄には實施する

### 石城郡醫師會

#### 病院規則協議

石城郡醫師會は来る五月十五日平警察署樓上に於て開催本縣衛生課長の臨席を求め

### 商工會の組織成り

#### 會長に山崎清三氏

#### 近き事業方針協議

既報——平町に於ける商工業の發達を企圖し併せて親睦を圖らんとする平商工會の設立は極めて機宜の處置なり として各方面より多大の期待を擔つて居るが昨日の庶民金庫(元いはらき支局)樓上に廿六名の商工業者參集し發起人會を開き猪狩庄平氏座長席に着き會則を逐條審議し座長指名に依り關内庄一氏外四名の詮衡委員を擧げて正副會長を互選の結果會長

に山崎清三氏、副會長に諸橋守治氏當選、直ちに就任の承諾を受けたが 一兩日中 に正副會長の指名に依つて常議員、評議員各十名宛を選任し常議員會を開いて事業計劃其他を協議する等であるが先づ第一着手として平町の商工業者に多大の關係と影響を有する製炭炭礦糧食部請負問題の解決等に當る方針である

め病院取締規則改正について協議をなすと

難破船救濟 四倉で組織

石城郡四倉町船舶機關士會では難破船及び漁船の罹災に對する救濟機關として今回四倉水難救濟會を組織し近く發會式を擧げると

本日會見 風か？雨か？ 大數網問題 第二次調停

小名濱の大數網漁業權爭奪問題に關しては既記の如く十四日千葉裁判長の調停に依り白井、高橋兩組會見の結果非常な意見の懸隔あつた爲め不調となり更に本日第二次の會見に依つて兩者の折衝を試みるべく午後二時より平區裁判所に兩組代表出席した、白井組は漁業組合との契約に基き既に權利を登錄となつたに對し高橋組は組合との假契約をタテにとり横槍を入れた理に於けるので高橋組が前回は提出せるが如き強硬なる條件を固守して譲らずとすれば到底同調停は穩やかに纏る筈がないと見られて居る

看護婦派出の求めに應ず 平町南町 看護婦會 電話三〇七番

から亂暴な扱ひは出來ないわけを針をつけてドンと落とすやうな事でもすれば音はビリつくのです レコードにも近頃フルートンといふ針が一般に用ゐられてゐますが、最近電氣吹込みのレコードが多いので、音も大きいのです、それ故フルートンよりは



蓄音器の扱ひ方 (下)

日中に戶外に出て新鮮な空氣に觸れて運動したり或は旅行などをして常に環境に變化を 持たせると云ふことに務めて成べく家中に蟄居してゐないやうにする必要がある。それから次に胃腸病を持つてゐる者は矢張この時期に増悪し易いから食欲が減つたり全身が懈らかつたり、不情になつたり、仕事をしても直ぐ飽き易くなつたり元氣がなくなり勝つもののであるが斯う云ふ時に無理に元氣を出して花見に行つて暴飲暴食をしたり、又は遊山に出掛けて不攝生をしたりすると尙更胃腸を害して

細かい音までだすものです

厄介になることが多いが慢性胃腸加答兒などのある人の春先の衛生法としては朝晩の食事の前、葡萄酒を一杯位用ひたり食後にデアスターゼやラクトスターゼなど胃腸の健康に氣も亦春先には再發し易いものであるから常に攝生に注意して病氣に罹らないやうに要心する必要があります(市原醫院長市原卯太郎氏談)

北東の風 勝ち小雨 模様